

# 平成25年度協働のまちづくりモデル事業（市民団体枠：3カ年事業） 申請一覧

合計 2件

No.	団体名	地域名	1. 事業区分	2. 実施期間	3. 事業（活動）のテーマ（キーワードなど）	4. 事業（活動）の内容				5. 事業（活動）内容及び概算事業費（単位：千円）	
						全体説明	公益的・社会貢献的	市民満足度	先進性・先駆性	平成25年度～27年度	
1	富山県呉西地区公共交通再生研究会	南砺市一円	⑦ 地域活性化事業	25年度～27年度	なんバスdiscoverなんと	<p>・南砺市民と南砺市を訪れる観光客のために、現在走っている「なんバス」を知悉してもい、利用効率を上げる。</p> <p>・環状快速バスの実運行に際して、利用される仕掛けをして乗車効率をアップする。さらに、他のフィーダー線の整理統合を図る。</p>	<p>・南砺市民の「なんバス」を現在よりわかりやすく、効率的で生活に欠かせない公共交通機関にする。</p> <p>・南砺市を訪れる観光客のために、「なんバス」をわかりやすく、観光地を効率的に回るような公共交通機関にする。</p>	<p>・南砺市民が等しく公共交通機関を享受できる。</p> <p>・南砺市を訪れる観光客のために、市民が自信を持ってガイドできる実力を保持することで、市民に郷土の誇りと自信を持てる。（おもてなし心の醸成）</p>	<p>・環状快速バスとフィーダーバスの有機的結合により、南砺市内を中心とした公共交通網のリンクが形成され、わかりやすく、効率的な公共交通機関にする。</p> <p>・南砺市周辺市町村との連携で、前進的な広域観光の施策を講じられる。</p>	<p>【明確なバス停】 市街地のバス停の位置を調査し、明確な位置を地図に示して南砺市民に配布し、なんバスの利用促進を図る。</p> <p>【先進地事例研究】 名古屋大学の加藤博和博士など、著名人による先進事例を研究し、南砺市に適合した公共交通網の整備を比較検討して、適切な公共交通運営を模索する。</p> <p>【環状快速バスの乗車促進】 環状快速バスの乗車を促進するため、種々の施策による啓蒙活動を行い、利用効率を上げる。</p> <p>【フィーダーバスの精査・統廃合】 環状快速バスの運行後、利用実績・市民のニーズを調査し、フィーダーバスの精査・統廃合を行い、市財政の負担軽減を図る。</p>	H25 410千円 H26 350千円 H27 350千円
2	南砺市小水力発電開発研究会	南砺市一円	② 産業振興事業 ⑤ まちづくり事業	25年度～27年度	南砺市の小水力ポテンシャルは全国トップクラス! ～農業用水路が張り巡らされた「散居村」の風景と、雪国の気候が育む豊富な小水力資源～	<p>【発電システムの改良】 発電システムの改良、新規開発、実証実験及びデモンストラーションを実施する。</p> <p>【適地マップの作成】 市指定緊急時避難所の隣接用水路の水量を年間通じて調査し、有望地点の発掘調査をする。</p> <p>【人材育成】 市民全般に対して「小水力活用人材育成マニュアル」を活用した勉強会、講習会及び発電所視察等を開催する。 ピコ水力発電「でんでんくん」による小学校への教材活用。</p> <p>【普及促進】 チラシ「小水力発電を導入しよう」を南砺市内外に配布し、普及促進に務める。 導入しやすい、安価で高出力な発電システム開発に取り組む。</p>	<p>・小水力発電が普及すれば、それを製作【鉄工所、電気工事、塗装等】、運搬・設置【運送業等】、工事【土木、建築、送電】が必要になり、経済が活性化します。</p> <p>・導入に伴い、水車の保守・点検管理【有資格者】することが必要になり、特に漂流してきたゴミを水車に巻き込まない為の日常的な処理等、高齢者雇用創出が生まれます。</p>	<p>・電力会社等への売電を目的とした小水力発電ではなく、数百W～数kW程度の発電を目的とし、地域が使用する地産地消(自給)のエネルギーを目指しています。</p> <p>・電力、動力の切り替えが可能で、製粉等、昔ながらの動力利用と発電ができます。</p>	<p>「南砺式モバイル水車」は設置・撤去が容易であり、災害等の緊急時避難所や公民館などで「地域のみんが使うところ」をターゲットにしています。</p> <p>このような小水力発電装置は全国に先駆けて開発され、注目を浴びています。</p>	<p>【水車の開発・改良・実証実験】 ①可搬型小水力発電システム（実証機） ②固定型五箇山モデル水車(新規製作機) ③なんとくん1号によるモデル構築</p> <p>【適地マップ作成】 年間を通じて、発電に必要な水量が確保できる水路の水量調査をする。</p> <p>【人材育成】 市内4箇所に分けて講習会や勉強会を実施。必要に応じ、外部講師(産学官から)を招聴。 近隣地域の既存発電所への視察を行う。 南砺市内の小学校へ赴き、子供たちに小水力発電の仕組みを「でんでんくん」を使って学んでもらう。</p> <p>【普及促進】 チラシ作成及び通信(配布)をする。</p>	H25 425千円 H26 515千円 H27 446千円